

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
おにの面 ～表情が変わるよ～	小	グループ学習 低学年あさがお (図画工作)	立藤葉子

<ねらい>

- ・手指を使って作る。
- ・イメージを膨らませながら楽しく作る。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

作成方法

- ①目・眉毛・口…様々な形のパーツの中から、好きな形を選び、顔の形の台紙に割りピンで付ける。
※台紙や顔パーツには教師が目打ちで小さな穴を開けておく。
目玉や牙は油性ペンで描く。
- ②鼻・角…様々な形のパーツの中から好きな形を選び、顔の台紙に両面テープで貼り付ける。
- ③髪の毛…色画用紙を線に沿ってはさみで切り、鉛筆に巻きつけて丸め、ステープラーで顔の台紙に付ける。
- ④ひげ…油性ペンで顔中に描く。
※完成後、頭に被るための帯は教師で付ける。

使用方法

- ・自分で作ったおにの面の顔パーツを自由に動かして表情を変えて楽しむ。
- ・怒った顔、泣いた顔、笑った顔、変な顔などを作り、その表情を模倣する。
- ・自分で作ったおにの面を被り、「♪おにのパンツ」の歌あそびに合わせて踊る。

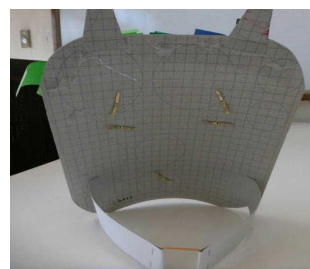
<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

割りピンは児童達にとって目新しい材料であったため、見本を提示したときにとっても興味をもたせることができ、制作活動にも意欲的に取り組ませることができた。小さな穴に割りピンを通すときや、割りピンを割り広げるときに手指の操作や手元に注目させることをねらって取り組ませることができた。紙を巻き付けて丸めたり、ステープラーで留めるなどの活動でも、手指の操作をねらって取り組ませることができた。

自分で作ったおにの顔の表情を様々に変えられることに面白さを感じ、完成してからも表情の模倣や歌あそび等で楽しく活用することができた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

工作用紙、色画用紙、割りピン、両面テープ、油性ペン、ステープラー、輪ゴム



←
裏面